



2025年5月20日

各位

会社名 ケミプロ化成株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 兼 俊 寿 志  
 (コード: 4960 東証スタンダード)  
 問合せ先 執行役員社長室長 山瀬 直  
 (TEL: 078-393-2535)

### 第3期中期経営計画の進捗状況と業績計画修正のお知らせ

当社は、2024年5月20日に、2025年3月期を初年度とし、3ヶ年(2024年度から2026年度)で推進する中期経営計画(以下、本計画という)の策定を公表しましたが、2025年5月9日付けの「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて開示した、2025年3月期の業績および2026年3月期の業績予想を踏まえ、本計画の進捗状況を下記の通り、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期の業績および2026年3月期の業績予想

| (単位:<br>百万円) | 2024年<br>3月期 | 2025年3月期 (注) |              | 2026年3月期 |               | 2027年3月期 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|---------------|----------|
|              |              | 計画           | 実績           | 計画       | 修正計画          | 計画       |
| 売上高          | 9,236        | 9,800        | <b>9,710</b> | 10,500   | <b>10,500</b> | 11,000   |
| 経常利益         | 132          | 200          | <b>173</b>   | 500      | <b>400</b>    | 600      |
| 当期純利益        | 126          | 140          | <b>128</b>   | 300      | <b>250</b>    | 360      |

(注) 詳細は、2025年5月9日に開示した「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。

#### 2. 2025年3月期の業績概要

当事業年度上半期の需要は堅調に推移しましたが、下半期は減速し、加えて、各種コストは依然として高い水準が続きました。こういった厳しい環境下、一部製品での需要獲得をはじめ、その他製品についても拡販に努めましたが、売上は、わずかに計画を下回りました。利益面では、原材料価格、エネルギー価格の高騰などによるコスト増加に対する価格転嫁の取り組みを推し進めたものの、当初想定した以上に各種コストが上昇し、全てのコスト増加を吸収するには至りませんでした。

結果、当事業年度の業績は、計画に対して、減収減益で着地いたしました。

#### 3. 2026年3月期の業績計画の修正理由

米国通商政策の変化に起因する貿易摩擦懸念等により、当事業年度においては、様々な変化が生じ、先行き見通しが極めて難しい状況が続いていくものと想定され、物価をはじめとする各種コストについても、高騰もしくは高止まりの動きが続くものと思われまます。このような環境下であり、直面する様々な変化に対して適切な対応を図ることへの注力が最優先となると思われまます。極めて厳しい環境下ではありますが、各種製品の販売強化を推進し、売上高は、当初計画を据え置きます。一方、利益面では、製品価格の適正化、原材料をはじめとする各種コストの低減などに努めるものの、業績反映には、やや遅れも生じることが予想され、経常利益および当期純利益の計画を下方に修正いたします。

以上

## 《ご参考》本計画の概要

### 1. 本計画の名称

#### ケミプロ化成経営革新プランⅢ ～ Flexible for Sustainability ～

### 2. 本計画の基本コンセプト 《Flexible for Sustainability》

「Flexible (しなやかな) な企業となり、Sustainability (持続可能性) を追求する」

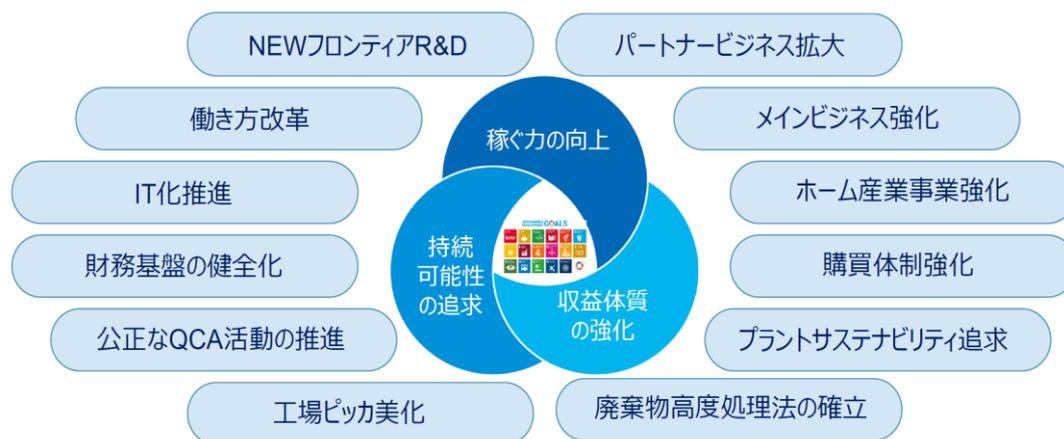
社名の由来であるケミストリー（化学）によるプロスペリティ（繁栄）実現に向け、「いいなと思われる、自慢できることがある会社になろう！」という中長期ビジョンのもと、社会から必要とされ、お客様から頼りにされ、社員と家族が誇らしく思う会社を目指します。

\*Flexible (しなやかな) の意味

|   |                    |          |
|---|--------------------|----------|
| し | 消費者（顧客）目線の「し」      | 社会性が高い企業 |
| な | なくてはならない「な」        | 永続性が高い企業 |
| や | 役割分担が上手い「や」        | 応用力が高い企業 |
| か | 環境順応性が高い「か」        | 柔軟性が高い企業 |
| な | 永く稼げる安定収益モデルを持つ「な」 | 強靱な企業    |

### 3. 重点方針とタスクフォース活動

「稼ぐ力の向上」、「収益体質の強化」、「持続可能性の追求」の3方針を本計画の重点方針とし、これらに基づき実施する施策を具体化し、以下のタスクフォース活動に落とし込んで推進すると同時に、SDGsの推進にもつなげるよう実践してまいります。



(注) 詳細は、2024年5月20日に開示した「新中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください

### 4. 経営目標(最終年度：2027年3月期)

|               |       |
|---------------|-------|
| 経常利益率         | 5%以上  |
| 自己資本利益率 (ROE) | 7%以上  |
| 自己資本比率        | 39%以上 |

\*ご参考：2024年3月期実績 (経常利益率：1.4% ROE：2.7% 自己資本比率：34.1%)

(注) 本資料に記載されている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。